

一般演題 管理・運用 OP9-4

耳抜き不良による治療の中止を防ぐための取り組み

○谷川祐樹¹⁾ 西山和芳¹⁾ 兵藤好行¹⁾ 金子鎮二²⁾
菅原 元³⁾ 世古口 英³⁾

- | | | | |
|----|----------|--------|-------|
| 1) | JA 愛知厚生連 | 豊田厚生病院 | 臨床工学室 |
| 2) | JA 愛知厚生連 | 豊田厚生病院 | 循環器内科 |
| 3) | JA 愛知厚生連 | 豊田厚生病院 | 消化器外科 |

【背景】

高気圧酸素療法（以下「HBO」）の代表的な副作用には、聴器障害や酸素中毒などがあげられる。副作用の中でも聴器障害は頻度の高いものであり、耳痛を生じるほか滲出性中耳炎の合併を起こす危険があり注意が必要である。当院では初回の HBO を施行する前に耳鼻咽喉科を受診し、鼓膜等に異常がないか確認を行い耳抜きが可能か評価している。また、耳抜きの必要性と方法について口頭で説明をしておき、加圧及び減圧時には適宜声掛けを行って耳抜きを促している。しかし、加圧時に耳痛を解消することができずに治療を中止した症例が2020年12月から2023年11月までの3年間に13件起こっており、そのうちおよそ半数の6件ではHBOの再開が見送られた。

【対策】

聴器障害の危険を減らし HBO を安全に施行するため、Valsalva 法の練習に用いられることのある自己耳管通気器具の Otovent を試験的に導入した。初回の HBO 施行直前に口頭での耳抜き説明に加えて Otovent を用いて耳抜きの練習を行った。

【Otovent の使用方法】

- ① ノーズピースとバルーンをつなげる
- ② 片方の鼻にノーズピースを当てて、反対の鼻を指でふさぐ
- ③ 鼻をかむように息を吹き込み、2秒かけてバルーンを直径10cm程度まで膨らませる
- ④ そのまま息を吹き続け2秒間バルーンの大きさを保つ
- ⑤ ①～④を何度か繰り返す

【結果】

2023年12月以降 Otovent を使用した症例は43件であった。そのうちすべての症例で初回加圧が成功しており、耳抜きができずに治療を中止した症例はない。全体の約77%にあたる33件では、加圧中に圧力の調整を必要とせず治療圧力まで到達している。残りの10件では耳痛の訴えがあり加圧の一時的な停止を行ったが、耳抜きを促すことで耳痛は解消しておりその後の耳抜きは良好であった。

【考察】

症例数はまだ少ないもののすべての症例で加圧が成功しており、耳抜きの可否を理由とした HBO の中止は起こっていない。Otovent の使用により Valsalva 法の手技を正しく身につけることができ、嚥下法等では耳痛の解消ができない場合でも Valsalva 法によって耳抜きが行えていると考えられる。

【結語】

耳抜きの可否は HBO を継続する上で重要な問題である。当院では Otovent を用いた対策を行って以降、耳抜きができないことによる HBO の中止は起こっていない。さらに Otovent の使用例を増やし検討を重ねていきたい。